

# 9月次活動報告書

団体名 NPO 法人さんむ杉のこ会

## ①目的

### 事業の目的

「地域の森林資源を生かす」ことについて、1、アートによって表現する。2、事業化によって具体化することを目指す。

## ②実施概要

当月	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者（人数）
①	看板製作	9/2	日向の森	芸術活動「森をまつる」の会場に設置する看板を製作した。古材を利用して、活動のイメージをデザインした。	2名
②	看板製作	9/12	日向の森	看板を設置した。	4名
③	経木製作	9/13	埴谷	経木製材に関する打合せ。運搬日程、製材用途などの相談。	3名
④	経木製作	9/26	下布田	経木用サワラ材の運搬	3名
⑤	経木製作	9/29	埴谷	製材打合せ	2名
来月 予定	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者（人数）
①	経木製作	10/1	埴谷	経木用材の製材	3名
②	PT会議	10/4	九十九里	会議出席	2名

## ③PR方法

看板、クチコミュニケーション、チラシ、ポスター

## ④連携・協力関係団体等

- ・ 山武の森再生計画推進協議会
- ・ (株)街波通信社
- ・ ウォウン

## ⑤成果・課題

成果・効果	事業に取り組んで見えてきた課題
会場脇の道は地元の方たちの生活道路であり、車の行き来も多いことから、地域への宣伝の効果を期待して道路沿いに看板を設置した。道行く人が看板を見ながら通って行く姿が見られた。	
経木用材は杉、サワラの2種類の木で製作する。この事業では、間伐材、林地に放置されている木、病害木を利用した経木を作る。今回は4mの丸太から、病害部分を避けて、経木に出来る材料がどれだけ製材できるかの試験を行なうため、材料の切り出し、運搬を行なった。	山武地域は、杉とともにサワラも多く見られる樹種であるため、経木の原料として選定した。サワラは見た目はヒノキに似ているが、ヒノキのような強い香りはない。水に強い性質があるため、かつては桶の材料に使われていた。杉は杉独特の香りがあり、サンブスギは樹脂分を多く含んでいる。両者ともかつて経木として使われていたという話は聞かないが、実際に経木に挽いてみて、その特徴を調べ、適した用途を探すことが事業化に向けた課題となる。 来月から予定している製材で、その次の工程となるつき板の用材がどの程度の歩留まりで取れるのかが、コストを大きく左右する要因であるため重要なである。それに関するデータを取得するために製材作業の記録をとることを予定しており、運搬段階から材の記録をとっている。

#### イベント内容などの写真



看板の製作と設置



経木材料の運搬の前に記録

#### <推進委員コメント>

経木を製作して使用してもらうところの開拓をしなければ、事業につながらないと思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。牧野

団体名 NPO さんむ杉のこ会

〒289-1324

TEL/0479-886-5477

